

令和2年度 創立記念祭 校長式辞

本校は今年創立56年を迎えることになりました。これもひとえに織田奈美理事長先生をはじめ、学園関係者の皆様のご支援ご協力の賜と教職員一同心から感謝いたしております。

今年の創立記念祭は、新型コロナウイルス感染症対策のため、一般公開ではなく、式典の部と運動の部に分けた形で実施することになりました。

式典の部は祝賀式として、3部形式で行うことになり、第2部では未来の本校または自分自身に向けた全員のメッセージが紹介されます。第3部では生徒全員が関わる書道パフォーマンスが予定されています。とても良い思い出に残る創立記念祭になるのではないかと期待しています。

本日は学校の創立をお祝いする日として、創立者織田小三郎先生にスポットをあてながら、愛国学園の一員としてその原点に立ち返る日にしたいと思います。

第2部に紹介する「愛国学園のあゆみ」では、織田小三郎先生の年譜を示しながら、創立者の人となりや時代背景を含めた愛国学園のこれまでの歴史を振り返る予定です。

そのことに深く関係する文章がありますので、ここでぜひ皆さんに紹介したいと思います。それは前理事長の三浦亮一先生が創立60周年記念式典のあいさつの一部です。少し長いですが、代読しますのでよく聞いてください。

「愛国」という校名の由来について

愛国、つまり自分の国を愛するという気持ちは、いつの時代でもどこの国においても誰もが持っているものであると思いますが、その他に、愛国学園の校名には創立者の織田小三郎・淑子両先生の強い思いが込められています。

昭和十二年（1937年）当時、両先生は東京の麻布龍土町で印刷出版業を営んでいらっしゃいましたが、世の中は戦争に向かって進んで行き、紙や出版物への統制も厳しさを増しつつありました。元来自由人であった両先生は出版業の限界を感

じ、事業を止めて郷里の愛媛県へ帰って晴耕雨読の生活をしようと決意しました。

その頃は財を成した人が国に飛行機(戦闘機)を献納することが歓迎されており、当時のお金で三十万円あれば「愛国号」という名の飛行機一機を納めることができました。両先生は出版業で蓄えた私財をお国のために役立てるため、「愛国号」の献納をしてはどうかと、衆議院議長で副総理をなさった林譲治先生や宇垣一成陸軍大将にご相談申し上げて熟慮した末、「飛行機は人を殺すための兵器であり、撃墜されてしまえばそれまでである。本当に国を愛し、日本の将来を考えるならば、平和な次の時代を担う人材を育てる「教育」に私財を投じるべきである」との結論に達しました。三十万円というのは、当時学校を創るのに必要な金額でもありました。そして、昭和十三年「財団法人織田教育財団」を設立し、飛行機よりも教育をという真の「愛国心」を校名として、昭和十四年四月、東京市江戸川区小岩の地に「愛国女子商業学校」を二百二十名の新入生とともに開校しました。

戦後、占領軍から「愛国」という名はけしからんと何度も校名の変更を求められましたが、両先生は「自分の国を愛することがなぜいけない」と、屈することなく、学制改革により昭和二十二年に「愛国中学校」を昭和二十三年には「愛国高等学校」を発足させました。その後、昭和二十六年の法人の組織変更により「財団法人織田教育財団」は「学校法人愛国学園」となって、現在に至っております。

以上が前理事長の三浦亮一先生が述べられたあいさつの一部です。

年に一度、校名の由来に思いを馳せること、そして、校訓の「親切正直」の原点に立ち返ることは、私たち教職員はもとより、在校生の皆さんにもとても大切なことであると思います。皆さんには、愛国学園の生徒の一人として、これからもプライドを持って歩み続けてください。

令和2年 10月24日

校長 倉持 正男

創立者 織田小三郎先生 年譜（概略）

- 1890年 織田小三郎先生 誕生（愛媛県）
- 1897年（8歳） 淑子先生 誕生（愛媛県）
- 1907年 愛媛県立師範学校（現国立愛媛大学）入学
- 1910年 伊予日日新聞社入社
（日本、韓国併合～45年）
- 1916年 上京、東京陸軍第一衛戍病院勤務
- 1917年 淑子先生と結婚
虚子のホトトギスから東洋城の渋柿社に移る
- 1919年 婦人文化研究会を設立、織田書店経営開始
俳句の会の機関誌を順次発行 ※俳号「枯山楼」
- 1929年 「俳諧文学」「文明」「俳諧春秋」「寂」の4種を発行
（世界恐慌） ※書道・絵画の雅号「枯山」「古山」
- 1934年 「連句とはどんなものか」発行
- 1936年 第一高等補習学校設立
- 1938年 財団法人織田教育財団愛国女子商業学校設立認可
- 1939年 愛国女子商業学校開校
（第2次世界大戦勃発）
- 1944年 第一高等補習学校廃校
（1945年 第2次世界大戦終了）
- 1947年 愛国中学校設立
- 1948年 愛国高等学校設立
- 1949年 愛国女子商業学校廃止
- 1951年 財団法人織田教育財団を
学校法人愛国学園に組織変更
- 1956年 教育功労者として総理大臣表彰
図解「おくのほそ道」出版
- 1959年 「奥の細道俳句新解」出版
- 1962年 愛国学園女子短期大学設立
（1964年 東京オリンピック開催）
- 1965年 愛国学園女子短期大学付属竜ヶ崎高等学校設立
- 1967年（78歳） 織田小三郎先生 逝去（海外教育視察帰国後）
- 1999年 愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校に名称変更
- 2015年 龍ヶ崎高等学校創立50周年記念式典
- 2018年 学校法人愛国学園創立80周年式典